

# エコファクトリー・エコオフィスの推進

池邨善満\* 北川雅晴†  
 高木正弘\*\* 屋部光利††  
 川西秀夫\*\*\*

Establishment of “Eco-factory and Eco-office” Guideline

Yoshimitsu Ikemura, Masahiro Takagi, Hideo Kawanishi, Masaharu Kitagawa, Mitsutoshi Yabe

## 要旨

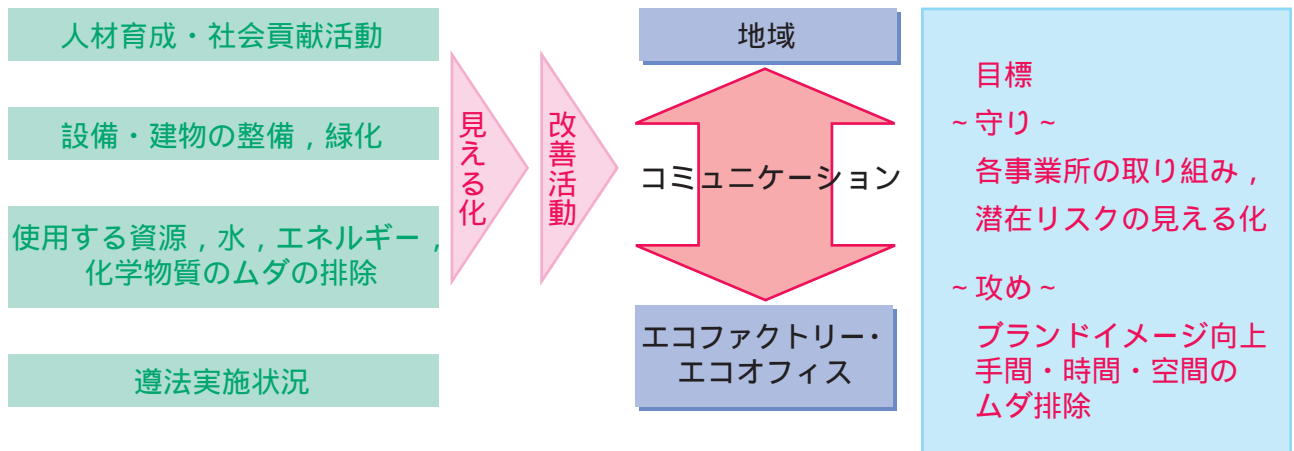
三菱電機グループでは、第5次環境計画に掲げた“エコファクトリー・エコオフィス”の実現に向けて、各工場・オフィスの環境配慮活動を評価し、課題を明確化するために適用する“エコファクトリー・エコオフィス指標”を策定し、情報の共用化を図ることによって改善活動を加速する。ただし、指標の策定に当たっては、サイトごとに取得しているISO14001の活動や本社環境推進本部が主導している環境監査とは別に、なぜ、今回の指標を策定し、工場・オフィスの環境配慮の質向上を図るのか位置付けが必要である。そこで、最初に、三菱電機グループとして目指す工場・オフィスを描き、その目標到達のための指標であるという位置付けを明確化することとした。

近い将来、変化が予想されるテーマとして、“3R”化学物質管理”地球温暖化”の3つを取り上げ、中長期展望と工場・オフィスの果たすべき機能・役割をまとめ、環境設備のリスク項目”過去改善”といった現場寄りの指標分類項目を抽出した。

次に、環境配慮活動ごとの、目的・手段・結果を明確にして、体系的な指標を定めることとした。“攻め”と“守り”を配慮した指標とし、“法規制を守っていればいい”といった観点から脱することを意味している。

指標策定は、ムダのない有効な評価基準となるよう、環境関連の現場を熟知している環境キーマンの経験を生かし、推進している。

- 工場・オフィスに潜在する環境リスク・ムダの“見える化”を徹底し、環境効率の高い工場・オフィスを目指す。
- 地域、環境と共生する事業所活動を推進する。



## エコファクトリー・エコオフィスの取り組み概要

現在の事業活動を、エコファクトリー・エコオフィス指標に基づいて評価し、潜在するリスク、残存する環境リスクを見える化し、環境リスク・ムダの軽減活動を推進する。地域・環境と共生できる工場・オフィスを目指して事業活動を推進する。